

【成果報告1：海洋教育のデザイン】

- 1 学校名 石川県鳳珠郡能登町立小木小学校
- 2 活動名 海に親しみ ふるさとに誇りと愛着を持つ児童の育成
～海に関する体験活動を通して～

3 実践の概要・ねらい

本校の石川県小木地区は、能登半島先端部に位置し、日本海側有数の遠洋イカ釣り漁業の基地であり、イカの水揚げ量が日本海側で一番多く、地域住民も「イカの町」としての誇りを持っている。また、この地域独特の文化・祭礼、地域活性化行事「イカす会」など海洋関係の種々の行事があり、海に関する施設も多数隣接している。

これらの環境を活かし、児童の発達段階に応じた「海に親しむ」「海を知る」「海を守る」「海を利用する」学習活動を視点に、年間通して計画的に展開する教育課程の開発と実践を通して、地域に誇りと愛着を持つ児童の育成をめざすものである。

4 実践計画

① テーマ・概要・活動計画、教科等

1年生：「生活科」～海に親しむ～

「きせつとともにだち」の単元を中心に、近隣の海洋体験施設に出向き、磯観察や磯遊びを通して季節によって変わる生き物や海藻の違いを学習する。

2年生：「生活科」～海に親しむ～

「生きものといっしょに」の単元を中心に、海の生き物マップ作りや採集した生き物を飼育、1年生への紹介活動を通して海に親しむ学習を深め、海を知る活動につなげる。

3年生「総合的な学習の時間」～海を知る、海を守る～

「地域・環境学習」を中心に、地元の海を探検し海のハンドブックをつくる。海に関する地域の祭りや、海上保安署と連携して海を守るための学習を行う。

4年生「総合的な学習の時間」～海を知る、海を守る～

海の生き物や海藻など地域の海を調べ直し、「小木発信プロジェクト」による「イカの町」CMづくりに取り組み、地域の良さを発信する学習、海を守る活動を行う。

5年生「里海科」（文科省特例教科）～海を知る、海を守る、海を利用する～

地域行事に参加しながら、「魚のたんじょう」や「日本の水産業」について学び、地域の漁業について理解を深める。3学期にその学習成果を発表する。

6年生「里海科」（文科省特例教科）～海を知る、海を守る、海を利用する～

「漁師の仕事」について地元で働く若い漁師を招き、ふるさとに対する愛着やふるさとの漁業の発展にかける思いを学習する。また、地元でとれる魚について学ぶとともに魚の料理についても学習する。3学期は「海の変化と人々の暮らし」について発表する。

② 実践の評価について

1・2年生

生活科の3観点「生活家への関心・意欲・態度」「活動や体験についての思考・表現」「身

近な環境や自分についての気付き」をもとに単元ごとに評価する。

3・4年生

総合的な学習の時間の観点「学習方法に関すること」「自分自身に関すること」「他者や社会とのかかわりに関すること」をもとに、それぞれ1～3項目評価基準を決めて評価する。

5・6年生

里海科の4観点「里海学習への関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」について評価する。

5 今年度の実践

① 計画からの追加・変更点

7月の研究発表公開授業において、3年生が「海のハンドブックづくり」活動の一環として千葉県館山市立西岬小学校とスカイプでそれぞれの海を紹介し合う交流学习を行った。児童は他の地域の海と比較することで自分たちの海の特徴を掴むことができた。但し、試験的な取組のため、次年度以降の検討課題である。

② 実践の成果

学習を進めていく中で、児童は海に関する興味・関心が高まり、地元の良さも認識できるようになった。児童は、これらの里海学習・活動を通してたくさんの大人から学び、ふるさとへの愛着や地域の一員としての自覚が高まってきている。

また、5月の「イカす会」での発表、11月の「九十九子発表会」、2月の「里海科・総合的な学習研究発表会」など、保護者や地域の人々に児童自らが学習成果を発表する機会を通して、保護者や地域の本校の海洋教育の取り組みに対する理解が深まるとともに、地域活性化の面においても里海学習への期待や信頼が高まった。

③ 次年度への課題

能登町では、町内の全小中学校で年間5時間以上の海洋教育に取り組んでいる。本校は能登町が推進している海洋教育推進拠点校であることから、今後はこの4年間で培ってきたカリキュラムと新学習指導要領のねらいとすり合わせて磨きをかけるとともに、実践ノウハウを町内の各小中学校に提案し広めていきたいと考えている。

今年度の研究発表会は、公開する学習内容を変えるため7月に開催。夏の海の学習プログラムを公開することができた。今後も時季をずらして、多様な里海学習プログラムを紹介していきたい。

また、2020年度に石川県学校教育研究会生活・総合的な学習研究会の研究発表会(県大会)が本校で開催されることになっている。県内の学校に、海洋教育が秘めている学習・効果の可能性を紹介できるよう、更にカリキュラムや学習メニューを整備していきたい。

6 主な連携機関及び内容

- ① 能登里海教育研究所：全学年にわたる指導・助言、実験準備・指導、ゲストティーチャー等
- ② 石川県漁連小木支所(小木漁協)：イカ釣り漁船出航見送り、遠洋イカ漁の歴史と現状、漁協施設見学
- ③ 金沢大学臨界実験施設：プランクトン採集・観察、透明度調査、親子夜の観察会(海の食物連鎖、天体観測と航海術)、地域イベント「イカす会」でのイカの解剖体験

- ④ 海上保安署：着衣泳の指導、漂着ゴミの収集、環境問題等のレクチャー
- ⑤ のと海洋ふれあいセンター：磯観察、海藻観察標本づくり、貝細工等
- ⑥ 石川県立能登高等学校：体験実習船「おおとり丸」体験乗船・定置網見学等
- ⑦ 旬日の出大敷：漁師の仕事見学、ゲストティーチャー等
- ⑧ 小木公民館・町内会：伴旗祭り、秋祭り参加
- ⑨ 石川県水産総合センター（うみとさかなの科学館）：見学
- ⑩ 小木スマイルプロジェクト：地域イベント「イカす会」参加（鼓笛パレード、海を守る活動発表、石川県水産調査船「白山丸」乗船体験・中型イカ釣り船見学、イカの解剖体験）

その他の連携実績

- ※₁ 「海と日本プロジェクト in いしかわ2018」（事務局：石川テレビ放送）に係る“里海科”授業体験（県内の小学生希望者：本校里海科主任による出前授業）
- ※₂ 能登町総合防災訓練における、小木自主防災組織（事務局：小木中学校）による津波防災避難訓練（小木小中学校体育館：児童生徒による津波防災支援活動、「海を知る」津波の脅威学習等）
- ※₃ 石川県農林水産部水産課・石川県水産総合センター主催「石川県青年・女性漁業者交流大会」における本校の海洋教育の取組発表（石川県水産会館：本校里海科主任）
- ※₄ 能登町ケーブルテレビで、里海学習（海洋教育）の実践を発表した。
- ※₅ 能登里海教育研究所主催「いしかわ海洋教育フォーラム」におけるパイオニアスクールプログラム採択校の取組発表・意見交換、ポスターセッション（金沢海みらい図書館：本校若手教職員）

7 その他

- ① 創造性に富んだ特色ある教育の実践と成果が評価され、時事通信社 第33回「教育奨励賞」努力賞を受賞した。
- ② 石川県生活環境部温暖化・里山対策室主催「いしかわ学校版環境ISO」に係るエコギフト「大賞」を受賞した。大賞受賞団体として、県知事、県内各種団体、学校関係者を前に「海を守る取組」発表した。（石川県庁：6年生児童）

海洋教育のストーリーマップ

1年生「海を知る」「海を守る」「海を利用する」

石川県鳳珠郡能登町立小木小学校

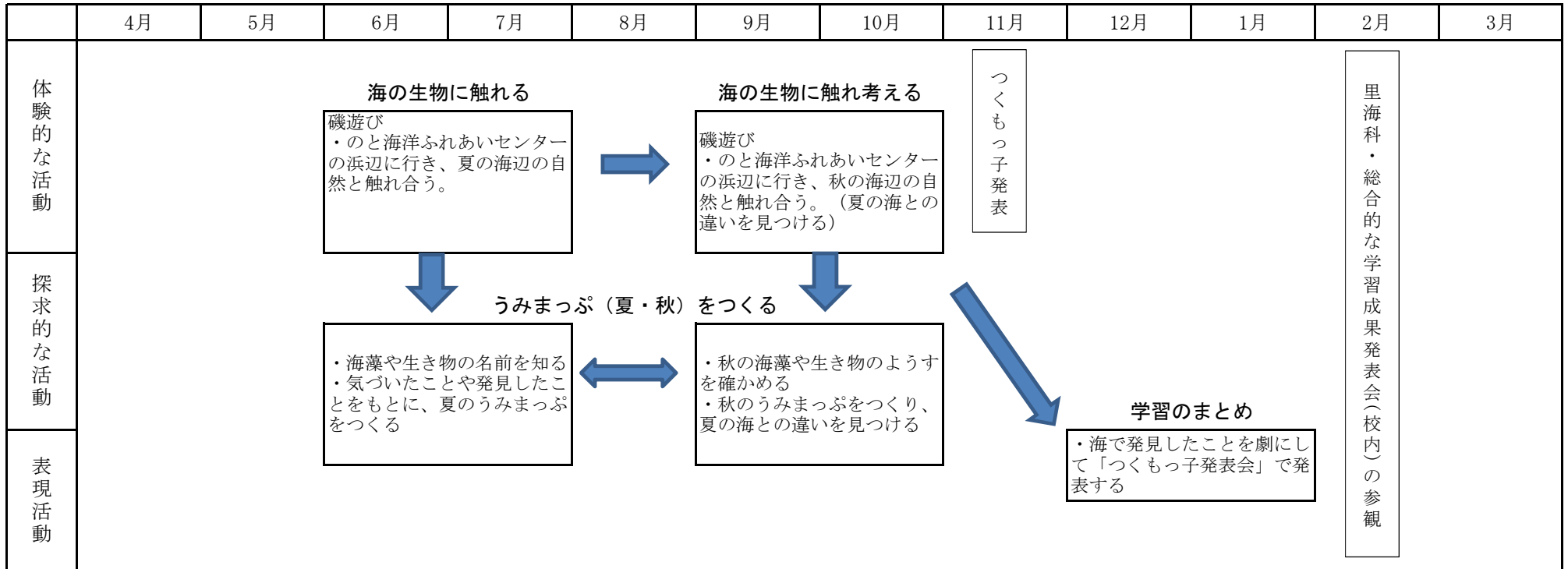
【実践のねらい】

- ・海の豊かな自然や身近な地域社会の中での様々な体験活動を通して、海に対する豊かな感受性や海に対する関心等を培い、海の自然に親しみ、海に進んでかかわろうとする児童を育成する。
- ・海の自然や資源、人との深いかかわりについて関心を持ち、進んで調べようとする児童を育成する。

○時数 6月～11月（生活科 16時間）

○関連学校行事 里海遠足(5月)、イカ釣り漁船出航見送り、町総合避難訓練(津波防災避難訓練)、つくもっ子発表会、里海科・総合的学習成果発表会参観

○目標 年間を通して身近な自然に触れ、近くの公園まで散歩したり、自然に触れ合ったりする活動を通して、身近な自然に関心を持ち、季節の移り変わりを実感できるようにする。



【主な連携機関と内容】

のと海洋ふれあいセンター：磯観察、見学

能登里海教育研究所：指導、ゲストティーチャー

海洋教育のストーリーマップ

2年生「海を知る」「海を守る」「海を利用する」

石川県鳳珠郡能登町立小木小学校

【実践のねらい】

- ・海の豊かな自然や身近な地域社会の中での様々な体験活動を通して、海に対する豊かな感受性や海に対する関心等を培い、海の自然に親しみ、海に進んでかかわろうとする児童を育成する。
- ・海の自然や資源、人との深いかかわりについて関心を持ち、進んで調べようとする児童を育成する。

○時数 5月～11月 22時間（生活科 22時間）

○関連学校行事 里海遠足(5月)、イカ釣り漁船出航見送り、町総合避難訓練(津波防災避難訓練)、つくもっ子発表会、里海科・総合的学習成果発表会参観

○目標 身近な生きものを探したり、観察したりしながら継続的に飼育活動を行い、育つ環境・成長・変化の様子に関心をもつとともに、生きものに親しみを持ち、生きものに生きものに親しみを持ち大切にしようとする。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体験的な活動	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;"> <p style="text-align: center;">海に親しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のと海洋ふれあいセンターの浜辺で海の生き物の観察をする。 ・「海の生き物マップ」をつくる。 ・海の生き物を採取する。 </div> <div style="font-size: 2em; color: blue;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;"> <p style="text-align: center;">海の生き物を育てよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の生き物の住み家に必要な物を考える。 ・採取した生き物を教室で育てる。 ・教室で水槽を準備し、役割分担をして世話をする。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%; text-align: center;"> つくもっ子発表 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%; text-align: center;"> 里海科・総合的な学習成果発表会(校内)の参観 </div> </div>											
探求的な活動	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;"> <p style="text-align: center;">1年生に説明しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室で育てている生き物を1年生に紹介する。 ・育ててわかったことや不思議に思ったことを発表する。 </div> <div style="font-size: 2em; color: blue;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;"> <p style="text-align: center;">学習のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海で発見したことを劇にして「つくもっ子発表会」で発表する </div> </div>											
表現活動	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100%;"> <p style="text-align: center;">1年生に説明しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室で育てている生き物を1年生に紹介する。 ・育ててわかったことや不思議に思ったことを発表する。 </div>											

【主な連携機関と内容】

のと海洋ふれあいセンター：海の生き物採取、見学

能登里海教育研究所：指導、ゲストティーチャー、飼育水槽準備

海洋教育のストーリーマップ

3年生「海を知る」「海を守る」「海を利用する」

石川県鳳珠郡能登町立小木小学校

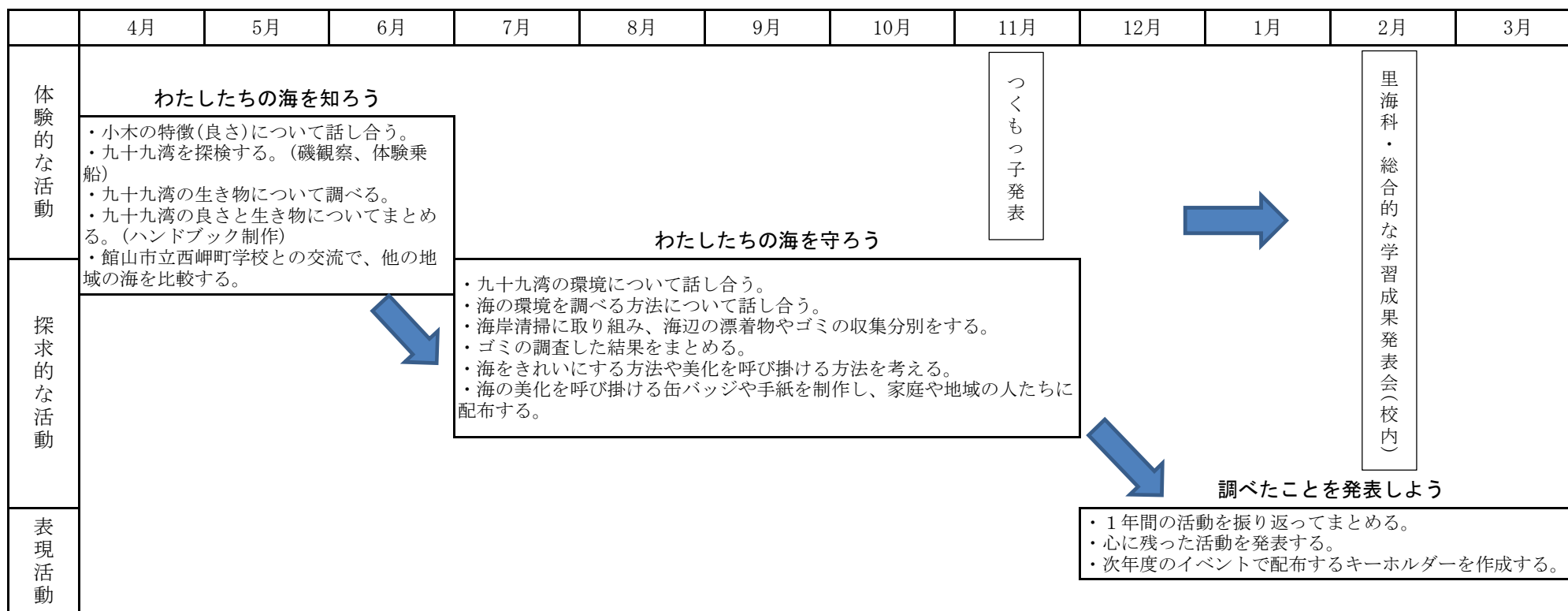
【実践のねらい】

- ・海の生き物の特徴やその生育環境の違い、海にかかわる歴史や文化やその地域による違いに関心を持ち、比較しながら調べることができるようにする。
- ・海の環境を保全する活動を通して、自然環境の状況や自分たちの生活が自然環境に及ぼす影響が分かり、進んで海の自然を守ることができる。

○時数 4月～3月 50時間（総合的な学習の時間 50時間）

○関連学校行事 里海遠足(5月)、イカ釣り漁船出航見送り、町総合避難訓練(津波防災避難訓練)、つくもっ子発表会

- 目標
- ・九十九湾での磯観察や見つけた生き物を記録したハンドブック制作を通して、身近にある海のすばらしさに気づくことができる。
 - ・身近にある海が、かけがえのないものであることに気づくとともに、海の環境を知り、守るために自分たちができることを考え、実践することができる。



【主な連携機関と内容】

海上保安署：海岸清掃の指導と漂着物の説明

能登里海教育研究所：指導、ゲストティーチャー

海洋教育のストーリーマップ

4年生「海を知る」「海を守る」「海を利用する」

石川県鳳珠郡能登町立小木小学校

【実践のねらい】

- ・海の生き物の特徴やその生育環境の違い、海にかかわる歴史や文化やその地域による違いに関心を持ち、比較しながら調べることができるようにする。
- ・海の環境を保全する活動を通して、自然環境の状況や自分たちの生活が自然環境に及ぼす影響が分かり、進んで海の自然を守ることができる。

○時数 4月～3月 50時間（総合的な学習の時間 50時間）

○関連学校行事 里海遠足(5月)、地域イベント「イカす会」、イカ釣り漁船出航見送り、町総合避難訓練(津波防災避難訓練)、つくもっ子発表会

- 目標
- ・小木のイカについて興味を持って調べ、ふるさとの海の素晴らしさに気づき、その魅力を伝えることができる。
 - ・自分たちの町を「イカの町」として能登町の人々に発信するために活動することができる。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
体験的な活動	能登町の海について調べよう													
探求的な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・九十九湾にいる生き物や、海でとれる魚について調べる。 ・のと海洋ふれあいセンターで疑問に思ったことをインタビューする。 			海藻の謎にせまろう		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">つくもっ子発表会</div>							<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">里海科・総合的な学習成果発表会(校内)</div>	
表現活動						小木発信プロジェクト～イカしたCMでPRしよう～ <ul style="list-style-type: none"> ・小木の町の歴史や特徴を調べる。 ・小木を代表するイカのPR内容について話し合う。 ・小木漁協で施設設備やイカ漁について話を聞く。 ・イカのCMづくりに取り組む。 ・完成したCMを地域の人に発表する。 ・能登町のケーブルテレビで放映してもらい町民に見てもらう。 							<ul style="list-style-type: none"> ・活動を振り返りまとめる。 ・学習の成果を発表する。 	

【主な連携機関と内容】

のと海洋ふれあいセンター：海の生き物採取、インタビュー

能登里海教育研究所：指導、ゲストティーチャー

石川県漁連小木支所：CM作り、インタビュー

のと小木スマイルプロジェクト：キーホルダー配布

海洋教育のストーリーマップ

5年生「海を知る」「海を守る」「海を利用する」

石川県鳳珠郡能登町立小木小学校

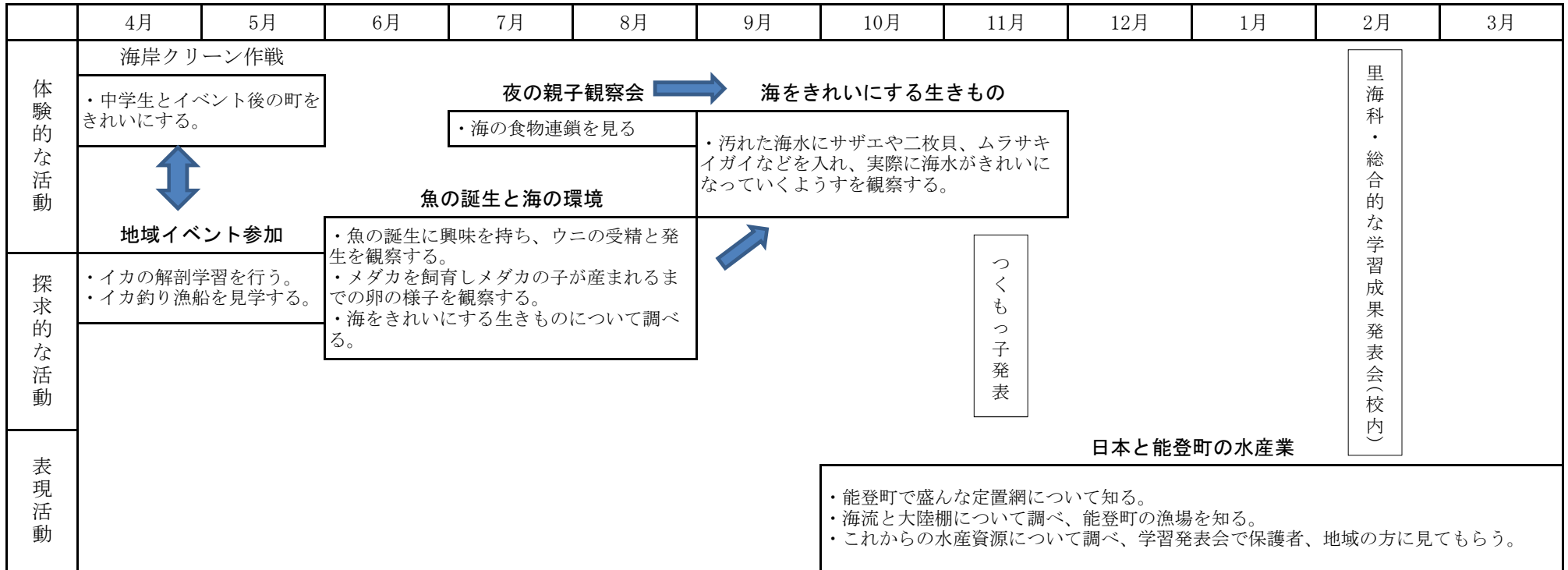
【実践のねらい】

- ・海の豊かな自然や身近な地域社会の中での様々な体験活動を通して、海に対する豊かな感受性や海に対する関心等を培い、海の自然に親しみ、海に進んでかかわろうとする児童を育成する。
- ・海の自然や資源、人との深いかかわりについて関心を持ち、進んで調べようとする児童を育成する。

○時数 4月～3月 35時間（里海科35時間）

○関連学校行事 里海遠足(5月)、地域イベント「イカす会」、イカ釣り漁船出航見送り、着衣水泳、町総合避難訓練(津波防災避難訓練)、つくもっ子発表会

- 目標
- ・海の生き物の誕生について調べ、動物の発生や成長について理解することができる。
 - ・海の環境の変化とそれに対応する生き物の様子を観察したり調べたりしながら、海をきれいにする生き物について理解し、海の環境を保全しようとする資質を養う。



【主な連携機関と内容】

金沢大学臨海実験施設：イカの解剖学習

能登里海教育研究所：指導、ゲストティーチャー

うみとさかなの科学館：見学

石川県漁連小木支所：イカ釣り漁船見学

海洋教育のストーリーマップ

6年生「海を知る」「海を守る」「海を利用する」

石川県鳳珠郡能登町立小木小学校

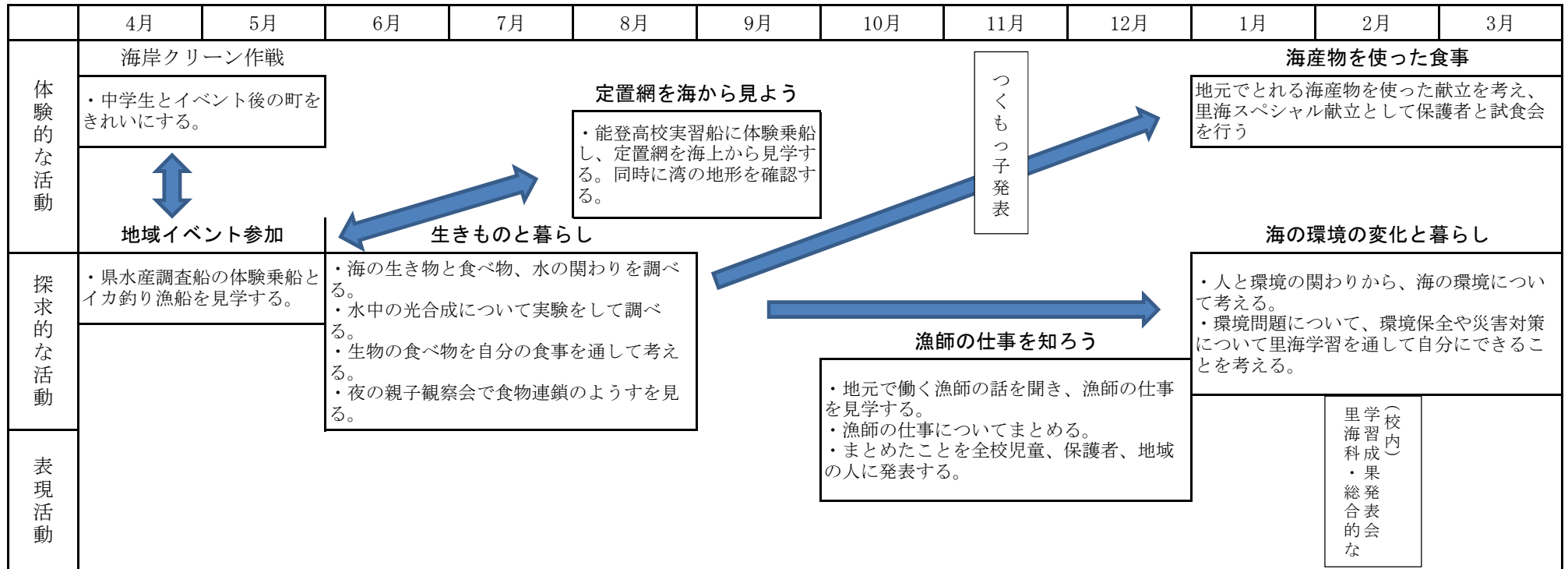
【実践のねらい】

- ・海の豊かな自然や身近な地域社会の中での様々な体験活動を通して、海に対する豊かな感受性や海に対する関心等を培い、海の自然に親しみ、海に進んでかかろうとする児童を育成する。
- ・海の自然や資源、人との深いかわりについて関心を持ち、進んで調べようとする児童を育成する。

○時数 4月～3月 35時間（里海科 35時間）

○関連学校行事 里海遠足(5月)、地域イベント「イカす会」、イカ釣り漁船出航見送り、着衣水泳、町総合避難訓練(津波防災避難訓練)、つくもっ子発表会

- 目標
- ・生き物が生きる上で必要なものをこれまでの学習や生活体験などをもとに想起しながら、水中の生き物も陸上の生き物と同じように空気、水、食べ物が不可欠であること。また、生き物同士が「食べる」「食べられる」関係でつながり、互いに寄り合って生きていることを捉えることができる。
 - ・海にかかわる仕事の体験や施設の見学を通して、海の自然や文化に親しんだり、海にかかわる多様な仕事に触れたりして、進んで海に関わることができる。



【主な連携機関と内容】

金沢大学臨海実験施設：夜の親子観察会

能登高校：高校実習船体験乗船

能登里海教育研究所：指導、ゲストティーチャー

石川県漁連小木支所：イカ釣り漁船見学

日の出大敷：ゲストティーチャー、仕事場見学